



長崎医師 保育サポートシステム通信

2018年度号

2019年2月発行

発行：長崎大学病院
メディカル・ワークライフ
バランスセンター

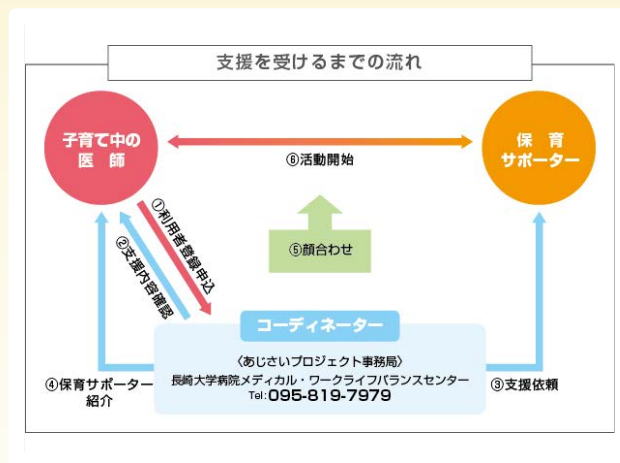
医師の仕事と子育ての両立を応援します

2018年度
リニューアル
スタート!



長崎医師保育サポートシステムは、長崎県内の子育て中の医師（男女にかかわらず）が「仕事と育児の両立」を図るために、医師のニーズに応じて、保育サポーターの情報提供・紹介を行い、マッチングをコーディネートするシステムです。過去4年間は長崎県医師会と協働運営を行ってきましたが、2018年度からは、対象を地域や機関等で分担して運用することになり、運営主体をセンターへ移管しました。

また新たな取組として、当該システムの利用が困難な地域でも、ニーズがあれば、個別に医療機関に合ったシステム作りの導入支援を始めています。利用者が増えて嬉しい悲鳴もありますし、経費が十分でなく苦労もありますが、このシステムを利用することで「仕事が続けられる」だけでなく、出産前から抱いていた医師としての目標や夢に向かって「活躍していただく」、その一助になれば幸いです。



メディカル・ワークライフバランスセンター スタッフの紹介

保育サポートシステムに携わっているスタッフです。
よろしくお願いいたします。

右手前：伊東昌子センター長
左手前：南貴子副センター長
右 奥：三宅スコラスタイン 由香
左 奥：有馬理音 ※コーディネーター



保育サポーター説明会・研修会

2018.9.6



● 安全第一の保育が大前提！

日本赤十字社長崎県支部から講師をお迎えし、子どもの事故の予防や対処方法を「赤十字幼児安全法」に基づき学びました。

スキルアップ研修会・情報交換会

2018.10.22



● 保育サポーター同士の貴重な交流の場

「親御さんに安心感を与えられるように心がけている」
「何より安全が大切。神経を張り詰めながらサポートをしている」
「お子さんの成長を見ることで、自分自身が勇気や笑顔をもらった」
「保育サポーターとして活動された方のお話がとても参考になった」

みなさんの声

2018年度に保育サポートシステムを、利用された医師と、活動された保育サポーターのみなさんから、メッセージをお寄せいただきました。

貴重なご意見は、今後の運営に反映してまいります。ありがとうございました。

利用者（医師）の声

- 仕事に専念する時間が増え、安心して子どもを預けて、資格試験の勉強や学会参加ができるようになりました。
- 週1回の利用ですが、カンファレンスや勉強会に参加でき、診療をするうえでも非常に役立っています。
- パートナーや保育園のほかに頼れる先ができて、安心感が持てました。
- 帰宅して育児や家事に追われ、疲れてできなかった論文の準備に時間をとれるようになりました。



保育サポーターの声

- 現在1歳7ヵ月のお子さんのサポートをしています。最初の依頼は1年前、人見知りが始まった頃で泣かれましたが、久しぶりの赤ちゃんは可愛くてあっという間の1時間でした。
しばらく間が空き、2か月前から保育園のお迎え（週1～2回）のサポートが始まりました。成長したお子さんは、私のお迎えを笑顔で待っていてくれて、自宅まで数分の道のりですが、私は、“ばーば”の気分で楽しんでます。道中の安全に十分気を配り、慌てずゆっくりを心がけています。
子育てが終わり仕事も辞めた今、この様な形でお手伝い出来る事を嬉しく思いながら、活動させていただいています。
- きっかけは友人が病院内でポスターを見て、子ども好きの私に勧めてくれた事でした。
私の自宅でお子さんを2～3時間お預かりするサポートが多いです。小さいお子さん達と触れ合うのは毎回とても楽しく新鮮です。幼稚園や小学校低学年のお子さんとは一緒に本を読んだりお絵描きをしたり、たまには一緒ににおにぎりをつくったり。ベビーちゃんは、危なくないように抱っこやおんぶをしています。
一番ひやっとした事は、外出した時、お子さんの足の速さに見失いそうになった事。一番嬉しかった事は、喜んで家に来てくれる事です。忙しくされている親御さんにちょっとでも安心していただけるよう、お役にたてればと思っています。
- 小学2年生のお子さんを習い事に迎えに行き、その後医師宅でお預かりするサポートを入学直後からしています。帰宅後は、怪我などに注意することはもちろんですが、必ず玄関の鍵を閉めること、名札や帽子を玄関に置くこと、靴を並べること、手洗いうがいなど、我が子にしてきたことをそのまま伝えていきます。一緒に宿題をしたり、カードゲームをしたり、テレビを観たりして過ごしています。
我が子は手を離れつつあり、私自身の自由な時間も増えてきました。週に一度お子さんに会えることを楽しみにしています。

心強い頼り！
いざという時に頼んで、



毎回楽しくサポートします！

コーディネーターよりご挨拶

- 2018年4月よりコーディネーター業務を担当している有馬理音です。
仕事と子育ての両立に悩まれている医師のみなさまと、子育て中の医師を支えてくださる保育サポーターさんの想いをつなげられるよう、コーディネートを行っています。
今後も長崎県医師会と連携しながら、安心してご利用いただけるシステム運営に尽力いたします。
ご不明な点は、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。
どうぞよろしくお願いたします。

2018 年度

活 動 状 況

2018/4/1～2019/2/1現在

	利用者（医師）	保育サポーター
2018年度 新規登録数	7名	27名
システム登録総数	50名	135名
うち2018年度利用・活動実数	19名	26名
資料請求数	12件	63件

● 主な活動内容

◎サポートの頻度は、少数回から週6日、不定期など幅広くご利用いただきました。

◎サポート時間は、平均で1回2時間前後が多いです。

- ・ 医師宅やサポーター宅での保育
- ・ 保育園や幼稚園⇔医師宅の送迎
- ・ 習い事や塾⇔医師宅の送迎
- ・ 保育園から勤務先内託児室への送り
- ・ 病気のお子さんの医師宅での保育 など
+ 保育と合わせて家事支援



センターから 利用者（医師）のみなさんへ

①登録内容に変更がある場合は、センターまでご連絡ください。
（住所、勤務先、支援を受ける子どもの人数など）

②同封の「登録確認書」は**3月8日（金）までにセンターまでご提出ください。**

センターから 保育サポーターのみなさんへ

①登録内容に変更がある場合は、センターまでご連絡ください。

（住所、活動可能な時間帯、活動内容など）

②活動中の保育サポーターのみなさんへ
2019年3月活動分までの「活動報告書」は、4月5日（金）までに必ずご提出ください。

（難しい場合は、一旦電話かFAXで報告後、提出）

※各機関へ詳細な実績報告が必要なため、ご協力をお願いいたします。



問い合わせ先

【長崎医師保育サポートシステム】

長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1 TEL&FAX **095-819-7979**

メール info01@nagasaki-ajisai.jp **あじさいプロジェクト** で検索



<ホームページ>